

令和7年度 大田区立大森第六中学校 自己評価 報告書

令和8年3月7日

○ 本校の概要

本校は昭和22年に開校し、私鉄の4駅に囲まれた交通至便な住宅街にあり、現在は12学級、全校生徒391名の中学校である。敷地は風致地区内にあり、自然に溢れ、4月には校庭も一面桜の花で覆われる。平成31年度にオープンした勝海舟記念館とともに、隣接して区民の憩いの場である周囲を15分ほどで歩ける風光明媚な洗足池がある。生徒たちは毎週清掃活動や、この池にホテルを自生させる活動に取り組み、毎年その風情が地域の方から喜ばれている。また、落ち葉を集めて作ったミミズコンポスト、夏の陽射しをさえぎるゴーヤのグリーンカーテン、さらに近隣の大岡山駅の駅前花壇メンテナンス等もやっている。教育目標は○気品のある生徒の育成 ○実力のある生徒の育成 ○健康の優れた生徒の育成の3つを掲げている。教育活動は、2011年にユネスコスクールに加盟し、地域を「屋根のない学校」として捉え、地域の人としてをモットーに地域の中で、地域の人々と共に、地域のために、環境を保全する環境教育や、災害に立ち向かう場所としての防災教育を中心に、国際理解・交流教育、地域連携教育、人権・人命尊重・平和教育を行い、生徒の自己有用感、自己肯定感を育てている。自分の育った地域に愛着を持ち、郷土愛を育み、将来の日本、世界の様々な課題を考え解決して、心豊かに生きていく基盤となる教育実践を行うことで、SDGsを到達目標としながら、20年・30年後の持続可能な社会の担い手を育てる持続発展教育(ESD)を推進している。

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

大項目	方向性	取組内容	取組指標	取組評価	目標に対する成果指標	成果評価	これまでの取組 今後の改善策	学校関係者記入欄		
								評価	人数	コメント
生予個 き測別 力難標 をな1 育未 成来 し社 会を 創 造 的 に	社会の様々な課題を自分事として捉え、主体的に考え、他者と協働し、問題解決していく意欲や、予測困難な未来社会を切り拓いていくために重要な創造力や課題解決力、情報活用能力を育成します。	①STEAM教育等の教科等横断的な学びや科学教育を推進し、課題解決力や新たな価値を創造する力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3	生徒学校評価(16) 生徒生活アンケート(10~12) 保護者学校評価(16) の肯定的評価の平均	4: 90% 以上	全ての授業でICTを活用し、話し合い活動を取り入れた授業を行ったことで、主体的・対話的で深い学びを実践することができた。 生徒生活アンケートでは「新聞やテレビのニュースなどに関心がある」と答えた生徒は75.3%と高い数値であったが、前年度よりは低下した。「難しいことでも失敗をおそれないで挑戦している」では83.0%と高い数値を維持した。	A	7	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的にこれまでの取組、今後の改善策の内容は的確で、短い文章ながら充実していると思う。 ・他者との協働により、問題を解決していくことに重要さを感じます。それが80%をこえる数字が出ていることに感心しました。 ・数年前に六中が「SDGs」に取り組みされました。はじめは今のような図・説明がなく難解でした。世界のSDGsの進捗は2030年までは16%の達成にすぎない！！と書かれています。ESDとの教育に期待。 ・難しいことでも失敗をおそれないで挑戦していることに高い数値が出たことは素晴らしいことだと思います。 ・社会人になる前のこの時期は「失敗」が許されます。多くの失敗や経験を積み重ねて成長していったほしいと思います。 ・ただ受け取るだけの受け身ではなく、本当に深掘りして自分たちで前進している姿がとても印象的で素晴らしいかったです。中学生が作ったとは思えないほど、スライドやまとめの資料が本当に完成度が違い、社会に出る準備ができていく感じがしました。
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。							
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。					3		
		②学校内外での様々な体験活動や自己評価する習慣づくりを推進し、自ら考え判断する力や、他者と協働していく力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3	2:50%以上70%未満	C			0	
3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。	3									
③情報技術を適切に活用した授業の実施を通して、情報活用能力の育成を図っている。		2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。	3	1:50%未満	D	0				
1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3									

大項目	方向性	取組内容	取組指標	取組評価	目標に対する成果指標	成果評価	これまでの取組 今後の改善策	学校関係者記入欄			
								評価	人数		
お世帯別 と目標 を構 想な 2 うが 人 材 育 成 市 し ま す	英語での実践的なコミュニケーション能力を高めるとともに、我が国や郷土の伝統文化に触れ、尊重する心や、協力していく態度を育成します。また、国際社会・地域社会に関心をもち、持続可能な社会を形成していく態度を形成します。	①外国語教育指導員の活用などにより、英語に慣れ親しみながら会話をする機会を増やし、英語力やコミュニケーション能力の向上、豊かな国際感覚の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3	生徒学校評価(18,19) 生徒生活アンケート(16,17,19) 保護者学校評価(17) の肯定的評価の平均	4: 90% 以上	英検対策のための青竹クラブは今年度毎月1回、水曜日放課後に実施した。なお、その成果として3年生の67%以上が英検3級以上取得することができた。地域の方に見守られながら、様々なボランティア活動に参加することができた。また、まちなか点検を通じて、地域のことをより理解することができた。生徒生活アンケートでは「私は、地域行事やボランティアに積極的に参加している」、「私は生徒会活動や委員会活動、係の仕事などに積極的に取り組んでいる」では前年度に比べそれぞれ約5ポイント以上上昇している。成果評価は87.1%とあと2.9ポイントで「4」となるところであった。今後も地域の方々のご協力のもと地域に関わられた学校づくりを目指していく所存である。	A	4	・シビックアクションを研究している学校なので、③についてはもう少し評価が上でも良いと思う。外国語教育でALTの活躍もあると思うが、特に評価することはないだろうか。 ・取組評価、成果評価どちらも4でもよいと思う。 ・国際感覚の育成と自国の伝統文化にも尊重する心を育成する両面を成し遂げていくことは非常に難しい気持ちです。こちらの点も80%をこえる「おおむねできた」ことをすばらしいと感じます。 ・地域行事やボランティアの参加により、自分自身に自信が持てて参ります。どんな形にしろ、積極的な行動を期待したい。 ・これからも地域の人々と一緒に色々な行事に参加し、協力していく態度を育成してほしい。 ・英検対策、まちなか点検ともに地域の方々の尽力によるものです。これからも地域とのつながりを大切にしていきたいです。 ・外国語がなくてはならない、切り離せない時代を生き抜く世代にとっては苦手意識なく英語を習得する始まりとしてとても良いと思います。地域の方々にもとてもよい印象をもってもらえていると聞きます。助け合いという意識をそのまま持ち続けてほしいと思います。	
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。								3:70%以上90%未満
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。								
		②我が国や郷土の伝統や文化の学習、人権教育を推進し、自分とは異なる文化や価値観をもつ相手を理解し、互いに尊重し合う心の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3	2:50%以上70%未満	C		0			
3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。											
③現代社会における地球規模の課題を自分事として捉え、その解決に向けて考え、行動する力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3	1:50%未満	D	0						
3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。											
た一個 人別 の目 標と 礎 り3 とが 個 る 性 力 と 能 力 を 育 成 し 発 揮 す る	児童・生徒が豊かな人生を生きていく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、健やかな体を育成します。また、乳幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	①道徳科を中心とした各教科等での学習などを通じて継続的に道徳教育を実施し、豊かな情操や道徳心の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3	生徒学校評価(7~11,23,25) 生徒生活アンケート(1~4,13,15,18) 保護者学校評価(7~9) 生徒授業自己評価 の肯定的評価の平均	4: 90% 以上	生徒生活アンケートでは「私はルールや決まりを理解し、守っている」や「私の生活(服装や態度)はきちんとしている」の項目では、前年度と同様90%以上の高い数値を出しており、生徒の規範意識は高い。また、「学校の授業(体育)での取組で基礎体力が向上した」の項目では、90.5%と前年度同様の高い数値であった。教員が体育の授業内容を工夫改善したことや体力テストを適切に実施し、その結果を効果的に活用した成果であると考え。また、生徒も自身の数値に関心をもっており、興味深く取り組んでいることも成果に大きく関わっていると考え。	A	8	・今後ご指導のほどよろしくお願ひいたします。 ・基本的な生活、健康や食育に関して、若いうちに身に付けてほしいと思います。この年齢になって反省することばかりです。 ・道徳授業参観より生徒個々の意見発表が活発であったことがうれしい！！自分で考えて進むことは大切なこと。個性を伸ばしてほしい。 ・全ての根本は日々の生活にあるように、自分でもできていると感じるほどに高い%を維持できているのは本当にすごいことだと思います。きちんとした中学生らしさを今後も保ってほしいと思います。	
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。								3:70%以上90%未満
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。								
		②学習習熟度に応じた指導や個に応じた学習支援、各種検定の実施を通して、すべての子どもに確かな学力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3	2:50%以上70%未満			C	0		
3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。											
③体育や保健体育の授業など様々な機会を通して、健康教育や食育を推進し、基本的な生活習慣の確立を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3	1:50%未満	D	0						
3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。											
④乳幼児期から中学校まで円滑な接続を行うため、保幼小の連携や小中一貫の視点に立った教育を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3									
3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。											
	2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。										
	1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。										

大項目	方向性	取組内容	取組指標	取組評価	目標に対する成果指標	成果評価	これまでの取組 今後の改善策	学校関係者記入欄		
								評価	人数	コメント
学 校 別 力 目 ・ 標 教 師 力 を 向 上 さ せ ま す	校内研究等のOJTの充実を通して、教師の授業力を向上させます。また、質の高い教育を実現するため、学校の組織的な運営力を向上させます。あわせて、教師がやりがいをもって働くことができる魅力的な環境づくりを進めます。	①児童・生徒一人ひとりの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実の視点による授業改善を行っている。 ②教職員がそれぞれの専門性を生かしたり、地域の特色を生かしたりして教育活動を行っている。 ③教職員の業務適正化等に取り組み、児童・生徒に教員が向き合う時間を確保する等、ウェルビーイングを高める取組を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3	生徒学校評価(1.2,6.12,14,17,22) 生徒生活アンケート(9) 保護者学校評価(1.2,11,12,14,15,20) 生徒による授業評価の肯定的評価の平均	4: 90% 以上	生徒学校評価では「大森第六中学校に入学してよかったと思う」と答えた生徒は94.0%と前年度同様90%を超える高い数値であった。また、「授業は、わかりやすく、ていねいである」と回答した生徒は94.7%とこちらも前年度同様高い数値であった。「先生は、勉強についての質問や疑問に丁寧に対応している」では96.1%と教員の授業における工夫や熱意が生徒に伝わっている。ただ、「学習(授業)が楽しい」では82.0%と前年度より下降している。生徒授業アンケートを参考に、より一層授業研究や研修に取り組むと同時に、ICTを活用し、生徒の興味・関心をより引きだせるような授業づくりを行う必要がある。	A	8	・先生方の専門性は素晴らしいと思います。今後もごもたちのためによりしく願いたいします。 ・授業を見学させていただき、生徒たちの発想は素晴らしいと思う。授業内容はどの教科も面白いものばかりだ。 ・教職員の皆様の指導力のあらわれです!!「学校生活が楽しい」「授業が分かりやすい」「丁寧な対応」生徒たちが一番の成長期を充実した日々を過ごせることは何よりです。 ・先生方の授業における工夫や熱意が生徒に伝わり、大森第六中学校に入って良かった、授業が分かりやすいと思えて本当に素晴らしいと思います。今後も学習が楽しく生徒にわかりやすい授業をお願いいたします。 ・お忙しい中でも先生方は本当に親身になって相談にのって下さったり、お話をして下さいます。生徒たちにも本当にそれが伝わっている結果の数字だと思います。
			4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4	3: 70% 以上 90% 未満	B		0		
			4:「おおむね高まっている」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむね高まっている」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむね高まっている」と回答した。 1:「おおむね高まっている」と回答した教員が60%未満であった。	3	2: 50% 以上 70% 未満	C		0		
				3	1: 50% 未満	D		0		
た 自 個 め 分 別 の 学 し 標 び く 5 を い き 支 援 し ま す と 生 き る	困難のある児童・生徒一人ひとりの状況にあわせて教育環境を整えようと、相談機能の充実を図ることで、すべての児童・生徒が自分らしくいきいきと生きるための学びを支援します。	①インクルーシブ教育システムの構築に向けて、教員の資質・能力の向上や校内における支援体制の充実、特別支援教室巡回指導教員との連携等を行っている。 ②学校いじめ防止基本方針に沿って、いじめの未然防止、早期発見、早期対応等のための組織的な対応を実施している。 ③スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの連携等、児童・生徒・保護者が相談しやすい環境を整備し、一人ひとりの能力や可能性を最大限に伸ばすことを意図した指導や支援を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3	生徒学校評価(3~5,15,21) 生徒生活アンケート(14) の肯定的評価の平均	4: 90% 以上	生徒学校評価では「学校の雰囲気は明るく、みんな生き生きと活動できている」、「学校生活は楽しい」、「学校はいじめや暴力行為のない学校づくりに取り組んでいる」の各項目では、それぞれ90%以上の数値を出している。今後もいじめや暴力行為などを未然に防ぎ、生徒全員が安心・安全に生活できる学校運営を心掛ける。また、地域のみならず、生徒の話を参考に、校内の生活指導に生かしていく所存である。	A	8	・子どもたちを見守って下さる皆様に感謝しています。 ・悪いことを見たら悪いと言えことは非常に難しく思う。自分の経験を生徒たちに伝えることができればうれしく思う。 ・学校・家庭・地域の連携強化を!! ・これからも安心・安全に生活できる学校に、そして一人一人の生徒の能力を最大限に発揮できる学校運営をお願いいたします。 ・多感な時期でもあるので、学校で教室以外の安心できる場所づくりにも尽力いただいている印象は多くあります。一人一人の悩みは本当に違いますが、個別に話ができる人がいるというのも良いと思います。
			4:「組織的な対応ができた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満の教員が回答した。 2:60%以上80%未満の教員が回答した。 1:「組織的な対応ができた」と回答した教員が60%未満であった。	3	3: 70% 以上 90% 未満	B		0		
			4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3	2: 50% 以上 70% 未満	C		0		
					1: 50% 未満	D		0		

大項目	方向性	取組内容	取組指標	取組評価	目標に対する成果指標	成果評価	これまでの取組 今後の改善策	学校関係者記入欄			
								評価	人数		
安柔個別 なで目 創構 育造6 環的 境を学 習く空 間と安全 ・ 学校施設に ついて、ICT 環境等の教 育環境の整 備を推進する とともに、児 童・生徒の安全・安心を向 上させるための教育を推 進します。		①学校や地域の伝統・特色 や、安心・安全な学校生活づく りを踏まえて、学習環境を整 備している。	4:「おおむねできた」と全教員が 回答した。	3	生徒学校評価 (13.20.24) 保護者学校評価 (3～5.18.21) の肯定的評価の 平均	4: 90% 以上	生徒学校評価では 「教材や教え方を工 夫している先生が多い」と「先生は、相談 事や悩み事について 適切に応じてくれている」でともに90%を 超える数値を出して おり、生徒に適切な 学習空間を提供する ことはできている。た だ、「学校の施設・設 備は十分整っている」 では肯定的な評価が 80.0%と他に比べて 数値が低い。今後、 区に相談しながら 施設・設備のより一層 の充実を図る。	A	7	・毎回思うが、建物の古さはどうしようもないが、それと「校内の清潔さ」 は別のものだと思う。廊下は用務さんがきれいにして下さっているの でありがたい。生徒の清掃など、もう少し目を配ってあげると、生徒も美しく 使うという意識が出てくるのではないかと。 ・今の世の中は歩きスマホや自転車の乗り方など危機意識が低いと感じ ます。施設についても自分の工夫でいくらでも充実したものを身に付けら れると思います。私も生徒たちの安全に目を向けて参ります。 ・地域と共に進めて行事・伝統は今後も継続してほしい。安全な学校生 活を願っています。 ・学校・PTA・地域とうまく連携し、よりよい学校運営をしていただけること をのぞみます。 ・昔と異なり保護者が忙しくなっていると思います。それにも関わらず合 間をぬって、保護者の方々がボランティア活動に携わっているのはとても 私たちの良い手本になっていると思います。 ・学校の建物自体は古き良き日本を感じられるという事実はありますが、 そこに生徒たちの活気のある掲示板が多々あり、とても明るい雰囲気 を感じます。防災の学習も実際に助ける側として、体験したことは本当に良 い経験になっていたと思います。	
			3:80%以上100%未満が「おおむ ねできた」と回答した。					3:70% 以上 90% 未満	B		1
			2:60%以上80%未満が「おおむ ねできた」と回答した。					2:50% 以上 70% 未満			
			1:「おおむねできた」と回答した教 員が60%未満であった。			1:50% 未満		D	0		
学地学 園校域校 別をコ・目 くミ家 標くユ 庭7 リニ・ まテ地 すイ域 の核 連と携 して協 働の よる	地域コミュニ ティの核として の学校づくり や地域の 特色を生かした 学校づくり を進めると ともに、学校・ 家庭・地域が 連携・協働し て、地域社会 全体で子ども たちを育成し ます。	①「地域コミュニティの核として の学校づくり」を目指して地域 と学校が連携・協働した様々 な活動を実施している。	4:「おおむねできた」と全教員が 回答した。	3	生徒生活ア ンケ ット (5～8) 保護者学校評価 (6.10.13.19.22～ 25) の肯定的評価の 平均	4: 90% 以上	保護者アンケート「学 校は地域の力を子ど もたちの教育活動に いかしていますか」で は約85%の数値を出 してあり、ボランティア 参加や大岡山花壇整 備への参加がこのよ うな数値にあらわれ ていると考える。 「学校の様子を学校 便りや学年便りで保 護者に伝えている」 「学校とPTAが連携 してよりよい教育活 動を作り上げている」 「学校は行事や授業 の参観の機会を適宜 もっている」では全て 88%以上の数値を得 ており、保護者にも一 定の理解を得てい る。	A	7	・地域とはかなり協働している学校ではあるが、教員の意識の中にはそ こが入っていないのがよくわかった。個別目標2に出していた英検対策の 青竹クラブは地域との共同作業で行われている。今後は学校運営協議 会や地域学校協働本部、PTAなどとの協働活動を意識し、よりよい教育 活動が行われていくことをのぞむ。 ・自分の心が豊かになるのはボランティアに関わることも一つだと考えま す。若い人たちと共に地域に関わっていただけたら幸せに感じます。 ・生徒・保護者共に回答率が低いには理由があるのでしょうか。 ・大岡山駅前ボランティア、大いに期待しています。 ・洗足池や図書館、色々なところで六中の活動を目にすることができ、 「核」としての役割は存分にあると思います。時代の流れと共に、PTA活 動は少なくなっている感じがしますが、生徒会の皆さんが本当によく動 き、頼れる存在になっていて、それはうれしいことです。今後ともどうぞぞ ろしくお願いいたします。	
			3:80%以上100%未満が「おおむ ねできた」と回答した。					3:70% 以上 90% 未満	B		1
			2:60%以上80%未満が「おおむ ねできた」と回答した。					2:50% 以上 70% 未満			
			1:「おおむねできた」と回答した教 員が60%未満であった。			1:50% 未満		D	0		
			4:「おおむねできた」と全教員が 回答した。								
			3:80%以上100%未満が「おおむ ねできた」と回答した。								
			2:60%以上80%未満が「おおむ ねできた」と回答した。								
			1:「おおむねできた」と回答した教 員が60%未満であった。								

○記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめる。

○学校関係者評価の「評価」は、A:自己評価は適切である B:自己評価はおおむね適切である C:自己評価は適切ではない D:評価は不可能である の4点について、評価した人数を記載する。